

安倍政治を終わらせるために、選挙で決着をつけよう!

日本共産党 参院選選挙区 野口てつろう 県書記長 擁立へ 予定候補者に 42歳を

野党共闘の成功と日本共産党の躍進で
自公と補完勢力を少数派に追い込もう



記者会見をする（左から）岩淵参院議員、野口書記長、町田県委員長、
神山県議団長＝7月10日、県庁内



紙智子参院議員
東北・北海道を活動地域に参院比例4期目を
目指す。参院農林水産
委員会理事、東日本大
震災復興特別委員。党
農林・漁民局長。

日本共産党福島県委員会は10日、来年の参議院選挙で、福島県選挙区に党県書記長の野口てつろう（のぐち・徹郎）氏を擁立することを記者会見して発表しました。野口氏の決意表明は別記。

党県書記長が参院選挙区候補者となるのは、福島県では初めて。町田和史県委員長は、「安倍政権を倒すため、どうしても参院選に勝利する必要がある。比例代表で県内13万票を獲得するとともに、野党共闘を成功させて選挙区でも勝利するため、書記長を擁立する決断をした」と強調しました。

岩淵友参院議員も同席し、「紙智子参院議員はじめ7人の比例候補全員当選に全力をあげるとともに、民青同盟時代からともに歩んできた野口候補と、国会でいっしょに仕事ができるように頑張りたい」とのべました。

神山悦子県議団長は、原発事故被害に苦しむ県民の状況に触れながら、「県民の願いを国会に届けられるのが紙参院議員はじめ7人の比例候補であり、岩淵議員であり、そして野口書記長。地方議員団も全力で頑張る」と訴えました。

野口てつろうプロフィール

1976年3月2日、福島市生まれ。42歳。福島第一小学校、福島第一中学校、県立福島商業高校商業科卒。（株）ライオン堂社員、電通恒産サービス契約社員、伊達みらい農協労働組合書記などを経て、2008年より日本共産党専従。2009年11月、福島市議補選に立候補。民青同盟県北地区委員長、県平和委員会理事などを歴任。党県被災者救援対策本部事務局長などを経て2018年2月より県書記長。党県被災者救援対策本部長、青年・学生対策委員会責任者なども務める。妻、長女と福島市に在住。

野口てつろう予定候補の決意表明

はじめに西日本で発生した豪雨災害で犠牲になられたみなさんに哀悼の意を表するとともに、被害にあわれたみなさんに心からお見舞い申し上げます。

立候補を決意するに至った背景には、安倍自公政権に対する3つの国民の怒りがあります。1つ目は、残業代ゼロ制度など働き方改悪法強行の悪政です。自分も長時間過密労働などを経験し、「同じ思いを若者に絶対にして欲しくない」というのが入党の原点です。2つ目は、国政私物化で民主主義を踏みにじる一方で憲法改悪しようという悪政です。「戦争できる国づくり」は絶対に許せません。そして3つ目が原発事故を「終わったこと」にして原発を推進する悪政です。「福島県民切捨て」ではなく、県民、被災者に寄り添った政治に転換することが必要です。参院選で安倍政権を退場させる結果をつくり出すために、市民と野党の共闘と日本共産党を躍進させることが国民に対する責任であり、その先頭に立つて頑張る決意です。

国会論戦で大活躍の小池書記局長が福島県で演説

日本共産党演説会
JCP SPEECH MEETING

7.29日
郡山市・ユラックス熱海
午後1:30開会

小池晃 書記局長
がお話します

・日本経済の再生
・本気の野党共闘
・安倍政権の政治腐敗

小池 晃 書記局長
紙 智子 参院議員
岩 淵 友 参院議員

場所
ユラックス熱海・多目的ホール
郡山市熱海町熱海2丁目148-2

連絡先
福島市南矢野目字谷地65-3
TEL.024-555-0550
FAX.024-555-0556

主催
日本共産党福島県委員会

2018年7月10日号外 発行 / 日本共産党福島県委員会 ●日本共産党福島県委員会が演説会日程を公表したのでお知らせします。

と き：7月29日（日）
午後1時30分開会

と ころ：郡山市・ユラックス熱海
弁 士：小池 晃書記局長
紙 智子参院議員
岩 淵 友参院議員ほか

入場無料！お気軽にご来場下さい！
県内各地から直行バスが出ます。